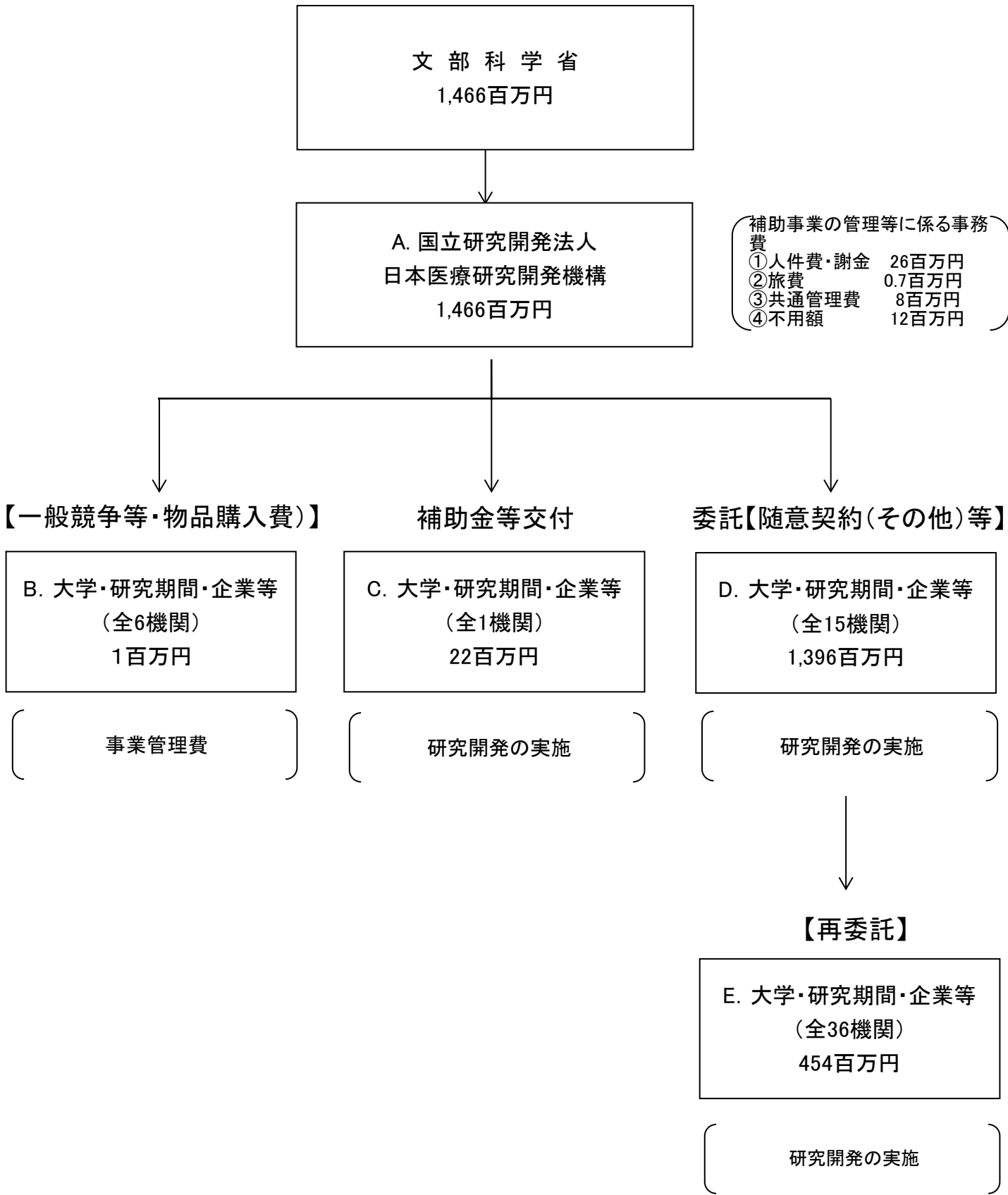


		令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)			
事業名	先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業			担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	令和10年度	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 釜井 宏行		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費			
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994 年に 14%、2007 年に 21%を超えた高齢化率(65 歳以上人口割合)は、2018 年には 28.1%に達するなどますます高齢化が進展している。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040 年には現役世代 1.5人で 65 歳以上の者 1 人を支えることになると予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016 年には男性 72.14 歳、女性 74.79 歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010 年から 2016 年の間に男女ともに約 0.3 年が短縮されたものの、依然として 10 年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。							
現状・課題 (5行程度以内)	バイオ医薬品は、世界の医薬品売り上げ上位100品目のうちのうち45品目を占めているが、日本発はわずか2品目であり(2019年(事業開始年度))、先端的医薬品等開発における我が国の国際競争力を確保するためには、アカデミアの優れた技術シーズを用いて革新的な基盤技術を開発し、企業における創薬につなげていくことが必要である。							
事業概要 (5行程度以内)	サイエンスに立脚したバイオ創薬技術及び遺伝子治療に係る基盤技術開発(要素技術課題)や、要素技術の組合せ・最適化による技術パッケージ(複合型技術課題)を確立し、企業導出を目指す大学・研究機関等の研究開発を支援するもの。 本事業で開発中の基盤技術を活用して、臨床応用に向けた非臨床試験の実施による創薬シーズ開発(令和3年度から追加支援)を引き続き推進し、現行事業の最終年度である令和5年度は、多くの課題からの企業導出が達成されるよう実用化に向けた研究を加速する。 なお、令和6年度からの後継事業においては、要素技術の組み合わせ等に関する課題、疾患応用の課題に加え、若手研究者の課題を設定し、我が国発の革新的な高機能バイオ医薬品等の創出を目指す予定。							
事業概要URL	https://bio-med.jp/summary/							
実施方法	補助							
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	1,261	1,316	1,466	1,466	1,880	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,261	1,316	1,466	1,466	1,880		
	執行額(G)		1,261	1,316	1,466			
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		100%	100%	100%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		研究開発推進費		重要政策推進枠 415百万円			
		(目)	医療研究開発推進事業費補助金	1,466				1,880
			その他					
	計(A)		1,466	1,880				

活動内容① (アクティビティ)		先端的医薬品等開発における我が国の国際競争力を確保するため、大学・研究機関等によるサイエンスに立脚したバイオ創薬技術及び遺伝子治療に係る基盤技術開発や、要素技術の組合せ、最適化による技術パッケージ確立に係る支援をし、企業導出を目指す。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究課題の支援	研究課題の採択件数	活動実績	課題	28	30	26	－	－
				当初見込み	課題	28	28	25	26	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	医療現場のニーズに応える医薬品の実用化を推進するためには、新たなモダリティの創出から各モダリティのデザイン、最適化、活性評価、有効性・安全性評価手法や製造技術等の研究開発まで、モダリティに関する基盤的な研究開発を行う必要があるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		医療分野研究開発推進計画に基づく新たなモダリティ等に関する基盤的技術の研究開発の採択課題割合75%以上	新モダリティ・先進手法に関する採択課題の割合	成果実績	%	96	97	96	－	
				目標値	%	75	75	75	75	
				達成度	%	128	129.3	128	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		健康・医療戦略、医療分野研究開発推進計画								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	医療現場のニーズに応える医薬品の実用化に向け、比較的早い段階の研究を対象とする本プロジェクトにおいて、企業等への技術移転件数はその波及効果も含めた成果に関する指標であると考えるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		事業最終年度までの企業等への技術移転13課題以上(大型・複合型研究開発課題60%以上、個別要素課題に関する研究開発課題50%以上)	先端的バイオ医薬品基盤技術の企業等への技術移転を行った課題数(累積)	成果実績	課題	2	8	10	－	
				目標値	課題	13	13	13	13	
				達成度	%	15.4	61.5	76.9	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「健康・医療戦略(第2期)」及び「医療分野研究開発推進計画(第2期)」における医薬品プロジェクトのKPIに基づき設定。 革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業(H26～H30)における企業導出の成果が54%であったことから、「大型・複合型研究開発課題」のうち60%の課題、「個別要素課題に関する研究開発課題」のうち50%の課題の企業導出を目標として設定した。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更)、医療分野研究開発推進計画(令和3年4月6日健康・医療戦略推進本部決定)								
	URL	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/senryaku/index.html								
	該当箇所	－								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	補助金	医療分野の研究開発	1,466	物品費	書籍購入	0.4
	計		1,466	計		0.4
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	サンプルの外注等	12	物品費	精製用設備購入等	135
	物品費	毒性評価の消耗品等	9	その他	共用設備使用料等	75
	旅費	研究打ち合わせ等	0.7	人件費・謝金	研究者の給与等	63
				旅費	学会参加及び研究打ち合わせ等	4
	計		21.7	計		277
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物品費	機能解析等に係る試薬購入費	25			
	その他	動物飼育にかかる費用等	18			
	人件費・謝金	研究者の給与等	10			
	旅費	研究打ち合わせ等	2			
	計		55	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	1,466	補助金等交付	-	-	-
B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社シード・プランニング	9010001144299	書籍購入	0.4	随意契約(少額)	-	-	-
2	キャンホンマーケティングジャパン株式会社	5010401008297	クラウドファイル共有システム	0.4	随意契約(少額)	-	-	-
3	株式会社ティーケーピー	7010001105955	会場借上	0.2	随意契約(少額)	-	-	-
4	有限会社ソーエイ	1030002024571	書籍購入	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
5	株式会社ビックカメラ	9013301010402	Web会議システムの購入(ネットワークカメラ)	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
6	トライコーン株式会社	5011101040706	WEB用顧客関係管理CRMツールパッケージ提供業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	-
C								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立医薬品食品衛生研究所	-	デリバリーと安全性を融合した新世代核酸医薬プラットフォームの構築1件	22	補助金等交付	-	-	-
D								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	安全な遺伝子治療を目指した万能塩基編集ツールの創出他、全5件	277	随意契約(その他)	-	-	-
2	国立大学法人大阪大学	4120905002554	デリバリーと安全性を融合した新世代核酸医薬プラットフォームの構築他、全3件	222	随意契約(その他)	-	-	-
3	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	次世代血液脳関門通過性ヘテロ核酸の開発による脳神経細胞種特異的分子標的治療とブレインイメージング他、全2件	151	随意契約(その他)	-	-	-
4	国立大学法人東北大学	7370005002147	先端的バイオ創薬等技術創出に向けての包括的支援体制の構築他、全2件	141	随意契約(その他)	-	-	-
5	国立大学法人京都大学	3130005005532	超汎用性即納型T細胞製剤の開発他、全2件	135	随意契約(その他)	-	-	-
6	国立大学法人鹿児島大学	6340005001879	完全ヒト抗体×ファージライブラリによる組織特異的移行性抗体AccumBodyの開発と次世代複合バイオロジクスへの応用1件	112	随意契約(その他)	-	-	-
7	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	核酸医薬への応用を目指した非環状型人工核酸の開発他、全2件	86	随意契約(その他)	-	-	-
8	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	高性能中分子医薬のスマートデザイン基盤技術開発他、全2件	46	随意契約(その他)	-	-	-
9	学校法人自治医科大学	4010005002334	遺伝子改変T細胞療法の有効性を高めるための選択的制御遺伝子(SRG)の開発1件	44	随意契約(その他)	-	-	-
10	国立大学法人金沢大学	2220005002604	人工エクソソームを用いた革新的免疫制御法の開発1件	41	随意契約(その他)	-	-	-

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・二者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人鳥取大学	4270005002614	完全ヒト抗体×ファージライブラリによる組織特異的移行性抗体AccumBodyの開発と次世代複合バイオロジクスへの応用1件	56	随意契約(その他)	-	-	-
2	国立大学法人大阪大学	4120905002554	生体組織イメージングに基づいたバイオ医薬品の新規評価基盤技術の開発他、全3件	54	随意契約(その他)	-	-	-
3	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	9120905002657	デリバリーと安全性を融合した新世代核酸医薬プラットフォームの構築他、全2件	35	随意契約(その他)	-	-	-
4	学校法人自治医科大学	4010005002334	安全な遺伝子治療を目指した万能塩基編集ツールの創出1件	35	随意契約(その他)	-	-	-
5	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	抗体重物複合体の高機能化を実現する生体高親和性クミストリーの確立他、全4件	26	随意契約(その他)	-	-	-
6	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	先端のバイオ創薬等技術創出に向けての包括的支援体制の構築他、全2件	24	随意契約(その他)	-	-	-
7	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	デリバリーと安全性を融合した新世代核酸医薬プラットフォームの構築他、全2件	20	随意契約(その他)	-	-	-
8	国立大学法人京都大学	3130005005532	次世代血液脳関門透過性ペテロ核酸の開発による脳神経細胞種特異的分分子標的治療とブレインイメージング他、全2件	17	随意契約(その他)	-	-	-
9	学校法人慶應義塾	4010405001654	先端のバイオ創薬等技術創出に向けての包括的支援体制の構築1件	16	随意契約(その他)	-	-	-
10	学校法人東京薬科大学	3010105000214	完全ヒト抗体×ファージライブラリによる組織特異的移行性抗体AccumBodyの開発と次世代複合バイオロジクスへの応用1件	14	随意契約(その他)	-	-	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	